

5月31日（土）生活・ヒヤリ・姿勢

週末と月末が重なりました。毎週更新している掲示物と毎月更新している掲示物をダブルで作成する日となりました。50枚近くの掲示物を作成、撮りためた子供の写真から必要な一枚を探すのは楽しい作業です。算数チャレンジの○つけ、音楽日記の点検。来週から始まる6月の構想を練りました。



5月30日（金）生活・ヒヤリ・姿勢

本年度第一回目の生活アンケートを実施しました。昨年度より紙に書くのではなく、QRコードで読み取って、PCで回答を送信することとしています。一年生にとっては初めてなので、各クラス、六年生が手伝いに来てくれました。クラス、名前の入力し、3つの質問に回答するだけですが、想定した時間内に終了しました。すでに一年生にとっても、PCでの回答が普通になっているようです。



五年生が「ヒヤリ・ハット」について学びました。教室を出て、校内のそれを見つける活動もしました。室内に入る段差、廊下の曲がり角、廊下に設置されているフック、画鋏などなど、危険な物が見つかりました。中には、階段を二段飛ばしで降りたり、ジャンプしながら降りたりして、その行動を示してくれた子もいます。校内には危険な箇所（行動）が山ほどあるようです。6月の生活目標は、元気なあいさつ、廊下は右側を歩く。



四年生の音楽の時間に、おもしろい活動をしていました。良くない姿勢でリコーダーを吹くとどんな音が出るか実践していたのです。上を向いたり、下を向いたりして吹くと変な音が出るのが実感できました。正しいやり方ばかりを教えられて、なぜそうするのが抜けてしまっていることがたくさんあります。このように、実感の伴う指導が大切だと感じました。



5月29日（木）委員長・対決・クイズ

児童朝会。各委員会の委員長が自己紹介と全校へのお願い、活動計画等を伝えました。プレゼンソフトを使い、視覚的にも熱いメッセージとなりました。「〇〇委員会、委員長の〇〇です。私は、いつもとても元気なタイプです。今年〇〇委員会で一番力を入れたいことは、任された仕事をしっかりとやること。みんながルールを守って、ケガ人のない学校にすることです。よろしくお願いします」のように、10人が堂々と全校に向けて話しました。今まで見たことのない、すばらしい児童朝会となりました。

クラブ活動で、シャトルランに取り組んでいるクラブがありました。よく見ると、先生も二人参加しています。回数を知らせるカウントが90を越えても走っている子がいます。先生もいます。クラブでの活動なので、途中から入って走る子もいるようです。最後まで走り切った先生は、100を越えるカウントを聞きながら、歯を食いしばっていました。

今日も校長室に数人の子がやってきました。算数チャレンジの直しを持ってくると、すぐで配信した問題を解いた子です。昨日、二三度やってきて「不正解」を言われた子がリベンジでやってきたのです。正解した子以上に、近くにいた子が喜んでいました。きっと苦悩する友達の姿を見ていたからでしょう。こんなところにもドラマがあり、自走する子の姿があります。



5月28日（水）虫歯・挑戦・算数

歯科検診がありました。保健室廊下で並んで、順番に入っていくことは、一年生にとって初めてではありません。しかし今回は、足取りが重く「入りたくない」オーラを出している子が何人かいました。ある子に「入っていいよ」というと「無理、こわい、虫歯見られるの恥ずかしい」と足を止めてしまいました。気持ちはよく分かります。その



子の検診結果は、どうだったでしょうか。

毎日、**すぐーるの配信**を続けてから、校長室に訪ねてくる子が増えました。**チャレンジ問題**に挑戦してくれた子が、回答を見せに来るのです。算数の問題、俳句、なぞなぞなど、「できた」と言って持ってくるのです。この日も四年生の子が二人、タブレットを持ってやってきました。「国語のチャレンジ問題」ができたのです。配信を読んでもくれたこと、その問題に**挑戦**してくれたこと、そして**正解**を導いてくれたこと、本当にうれしいです。

六年生の算数の授業では、授業開始後すぐに学び合いが始まりました。最近、学び合いが始まると、子供たちに話かけにくい雰囲気があります。ある子が「**3 / 5 m**は、**6 0 cm** ってことでしょ」と声をかけてくれたので、もう一つの扱う数「じゃあ**7 / 8 m**は、何 cm?」と聞いてみました。得意げに計算を始めようとしたので、「**だいたい**でいいんだよ」と手を止めさせると「**だいたい 2 0 c m**くらいかな」と答えてくれました。伸びしろのある子で、よかったです。



5月27日（火）歩行・タンポポ・熱い

生活目標朝会で6月の重点「**廊下歩行**」について、考える場面がありました。「なぜ、廊下は右側を歩くか」をグループごとに学び合いました。「**ケガ**をするから」「ぶつかりたくないから」などの意見が聞こえてきました。「**右側**」の理由については、「方向が同じじゃないと、混んじゃうから」などの考えが出ました。二年生の教室でこの学び合いを見ていましたが、おもしろい意見も出ました。「**先生たちが左側**を歩くから、僕たちは右側を歩く」。

五年生の理科ではおもしろい課題に取り組んでいました。「**タンポポ**は一株から 800 の花を咲かせることができるが、なぜタンポポだらけにはならないのか」というものです。「**温暖化**だから」「**動物**が食べてしまうから」「**花粉**が足りないから」「**風**で飛んで行ってしまうから」「**土の中**



まで入らないから」「小さいのは見えない」などなどの意見が出ました。この後の討論も楽しかったです。

五年生の国語では「著者が一番主張したい段落は？」という問題に、三人が熱く討論をしていました。三人の意見は止まることなく、しばらく続けました。私も近くでずっと見ていましたが、私の存在は彼らには気づかれなほほどです。その熱さが、他の子にも伝わったのか、一人二人とこの学び合いに参加してきました。気づくと8人になっています。素敵な、自走する姿を見ることができました。



5月26日（月）音訓・理解・温度

三年生の国語では、音読み・訓読みの学習をしました。先生が黒板に「漢字の音と訓」と書きました。以前の扇小学校でしたら、この瞬間に「先生、習ってない！」という声が上がったはずですが。今やそんなことは誰も言いません。「書けそうだな」と思った子は黙ってノートに書きます。習ってないと判断したら、ひらがなで書きます。「これ習ったっけ？」というつぶやきがあったので、先生も「ごんべんに、かわです」とさわやかに言うだけでした。



六年生の算数の時間のこと、先生があることを尋ねました。「分かった」と思っていたけど、テストをしたらできなかった問題があった、どうすればいいの？。子供たちなりに考えて答えていました。「出来たと思っても、もう一度誰かに聞く」「出来ても油断しない」「プリントをもう一枚やってみる」など。難問です。「分かったと思っていたのに」「できたはずなのに」「準備は万端だったのに」「自信があったのに」結果が伴わないこと。永遠のテーマかもしれません。



四年生が温度計を持って、いろんな場所の温度を調べていました。土の中、砂の中、水の中に温度計を入れていきます。あまり変わらない結果に少し残念がっている子もいました。あるグループがおもしろい所に温度計を差し込んでいました。アリの巣です。どんな結果を期待したの



か分かりませんが、「土の中」を調べたときと**同じ結果**となりました。

5月25日（日）すぐーる

先週より、毎日子供たちにメッセージを送っています。すぐーるを使い、送っています。このソフトは、予約配信もしてくれるとのことなので、この三連休も毎日**午前9時**に配信してみました。実際に送れているのか、どれくらいの子が見ているのか、明日、確認してみようと思っています。便利なものは、まずは**使ってみる**ことです。



5月24日（土）アジサイ

外を歩くと、いろんな場所でアジサイを見ます。本校にも咲いています。土によって、花の色が変わると言われるアジサイ。赤やピンクも素敵ですが、私は**青や紫**の方が好きです。花言葉も色によって違うようで、ちなみに青や紫の花言葉は「移り気」「**辛抱強さ**」「浮気」「無常」だそうです。



5月23日（金）しおり

本日は、朝二時間ほど。市内に用事があったので、ついでもあって、仕事をしました。五年生・宿泊学習の**しおり**の日記を読んだり、**自主学习**ノートを見たり、**HP**の更新をしたり、そして、ヒナを確認したりしました。**ヒナ**は、ちゃんと顔を出していました。かわいいくちばしを、動かしていました。出勤して良かったです。



5月22日（木）ゆかい・暑さ・ヒナ

音楽朝会。「ゆかいに歩けば」を歌いました。**五六年生**だけが歌い、四年生以下が鑑賞する場面がありました。高



学年になると照れて声を出さない子もいそうですが、扇の子は**全力**で、**きれいな声**で歌を聴かせてくれました。当然、全校での合唱は張り切った声が体育館に響きました。終了後、体育館から退場していく子を見送ったのも、高学年の歌。**ゆかい**に歩いて、扇っ子が教室に戻っていきました。

四年生の理科で**おもしろい発言**がありました。先生が「なぜ、**半そで**を着ているのか？」と聞いた時です。一人目は「**暑いから**」、二人目「**気温が高い日だから**」、三人目「**むし暑いから**」。これ以上の回答はなさそうだったので、ある子が正直に発言しました。「**ママが着ていけって言ったから**」。なるほど。

下校後、学校に遊びに来た数人が声をかけてくれました。「**ヒナが二匹**いる！」と。穴のある木に行ってみると、確かにヒナが顔を出しています。すぐに写真を撮りました。こんなに**小さなコゲラ**を見たのは初めてです。本校で育てくれたことに感謝すると共に、気づいてくれた子供たちの**感性**を誇りに思いました。

＊GW開けから、自転車の乗り捨て事案が続いています。学校に止めた鍵のかかっていない自転車に乗って、学校から離れた場所に乗り捨てる者がいるようです。毎日職員が駐輪場所を看視したり、学校と乗り捨て場所の間をパトロールしたりしているのですが・・・。



5月21日（水）到着・シンボル・学び合い

五年生が学校に戻ってきました。バスから降りてきた表情は「**疲れ**」「**眠気**」を物語っていました。解散式では、二人の子が感想を発表しました。「協力して」**集団行動**を身に付けられた。来年の**修学旅行**でも生かしたい」「みんな、協力していろんなことに**挑戦**してかっこよかった。みんなと何かを**成し遂げられて**、とてもうれしい」と話してくれました。

二年生がクラスのシンボルを決めるようです。貼り出さ



れた30枚弱の絵の中から、まずはそれぞれが一番のお気に入りを選んでいました。**たいやき**や**手のひら**の絵が多いことを見ると、このクラスのシンボルになっているものようです。さて、決め方ですが投票ではありません。今後、学級活動で**話し合い**をして決めるようです。集団で物事が決まる**手順**を学んでいきます。

六年生の算数、学び合いが一度止まりました。自分が出来たからといって勝手なことをしている子がいたからだそうです。本校の学校目標は「**探究**」「**貢献**」「**自立**」です。問題が解き終わって「ひま」は出来ません。さらに探究するか、友達のために**役立つ**ようにするか、自分の考えをより固めるか、やることはたくさんあるはずです。活動の停止理由を知った子たちは、**活発**に学び合いを始めました。

5月20日（火）出発・譲る・幼虫

五年生の一大イベント「**宿泊学習**」の出発式が校庭で行われました。六年生の教室からは、**手を振る**子、「いってらっしゃい」「**がんばって**」と声をかける子などが、この式を見つめていました。優しい**先輩**の姿を見た気がします。式の中で代表の子が「**思いやり**を持って、協力して、**楽しい**二日間にしましょう」と語ってくれました。**全員出席**、**晴天**（暑すぎるくらい）。これ以上ない、出発の姿でした。

朝、校庭に出てきた**六年生**数人が向かった先は**ブランコ**です。「今、流行っている」とのことで、楽しそうに活動が始まりました。六年生がブランコを**独占**している場面を初めて見ました。そこへやってきた**一年生**、**二年生**はこの姿を**うらやましそう**に見ていました。「私もやりたかった」という表情を浮かべています。「代わってください」とは言えません。黙って見ている子に気づいた六年生のある子がブランコから降りて「**どうぞ**」と譲っていました。それを見ていたある子が「そこは水たまりがあるだろ、だれか**違うところ**を譲ってやれよ」と言ってくれました。



四年生の理科、カブト虫の幼虫を観察していました。せっかく各班にやってきた幼虫ですが、好感度は低いことが分かります。「動いた!」「食欲なくなる」「気〇ち悪い」「もうダメ」「助けて」などの声も聞こえてきます。幼虫がケースから出てくることはなく、臭いもしません。「かわいいじゃないか、イケメンじゃないか」と、近くの子に励ましとも慰めともとれる声をかけている子もいました。



5月19日（月）健康・ダッシュ・レク

休みが一日となった、月曜日。天気もどんよりとしています。何となく元気が出にくい朝でしたが、一年生の教室からは元気な声が聞こえてきました。先生が「〇〇さん」と健康観察をすると「はい!元気です!」というすばらしい宣言が続きました。朝の会の進行をしているのは日直の子。この子も元気な声で「次は、先生のお話です!」と進めていました。こういう環境ならば、天気に関係なくみんな張り切って勉強してくれると確信です。



6年生の体育ではスタートダッシュの活動が行われていました。普段のスタートではなく、後ろを向いて座った状態からのスタートや、腹ばいになった状態からのスタート。瞬発力を高める運動です。距離は20mほどだったので、スタートダッシュでほぼ順位がきまります。「よいスタート」の合図もしっかり聞いていないと反応できません。運動量の多い、とっても楽しい活動でした。



明日は宿泊学習。五年生の教室から元気な声が聞こえてきたので近づいていくと、おそらくキャンプファイヤーで踊るダンスに取り組んでいました。元気いっぱい。下の教室にも、跳びはねる音が届いていたはずですが、今日は比較的暑くない日だったのですが、明日は暑そうです。このテンションで踊りきれなのか、少し心配になりました。子供たちはそんなことは考えていません。楽しみでしょうがない、表情にはそう書いてありました。



5月18日（日）本屋

久しぶりに本屋に行きました。最近はネットでも買えますし、そもそも本屋さんが激減しています。ショッピングモールやデパートなどに行かないと本に出合わなくなりました。私のように、たまに訪れる人は少なくなく、たくさんの本を抱えてレジに並ぶ人の列がありました。私も父のように、老いても読書はしていきたいです。



5月17日（土）参観・粘土・避難

本日は土曜公開日。一年生にとっては、入学後、初めて授業を見てもらえる日です。公開授業の2時間目開始がせまると、待ち人を探すために、子供たちは落ち着かなくなりました。「待ちわびていること」のテレを隠すためか、元気な声で保護者に方々に「いらっしゃいませ」「こんにちは」「おはようございます」「どうぞこちらへ」などと声を出し始めた子もいます。一年生が、2時間目の授業、いつも以上に張り切って学んだことは間違いありません。



ある学級では粘土での作品作りに取り組んでいました。あまり見たことがない流れで楽しかったので紹介します。

「小さな玉をたくさん作りましょう」「それを一つにまとめてドンドンたたきましょう」という指示での活動です。小さな玉を大事に並べて顔を作ったり、大きい順に並べて最後は見えないくらいの玉を作ったりと、ここまででもおもしろかったのですが、それを一つにする活動で個性が出ました。何の躊躇もなく一つの塊にする子もいれば、一つひとつ重ねていく子もいれば、せっかく作った小さい玉をしばらく眺めている子もいました。



雨のために引き渡し訓練は中止にしましたが、避難訓練は予定通り実施しました。地震速報後に、担任の指示に従い机の下に隠れます。担任の指示で校舎から離れるために並びます。黙って次の指示を待ちます。ここまでの大事な初期動作を徹底して訓練しました。本番は、どんな天



気であれ、校舎から離れて行きます。引き渡しについては、**雨の日でも**行えるような訓練を検討しているところです。

5月16日（金）掃除・音読・質問

六年生が**プール**掃除に取り組んでくれました。**晴天**に恵まれ、楽しんで取り組んでくれました。泥だらけのプールで中に入るのを**嫌がって**いた子もいましたが、終わり頃にはびよ濡れになって**喜んで**活動していました。プールはとてもきれいになりました。六年生も全身を濡らしてしました。「**扇っ子のために**がんばった」と数人が話してくれました。貢献する子の姿でした。

一年生の国語です。物語文もスラスラと読めるようになってきました。この日は「この部分を**どんなふうに読むか**」を学び合っていました。「うれしそうに読む」のか「おこって読む」のか「悲しい気持ちで読む」のかを、ペアで話していました。ある子は**挿絵に涙を**描いていました。「泣いているかもしれない」と言っていました。それを見たペアの子は「**笑ってるんじゃないの？**」と返していました。文章を**読み取る力**がこのように高まっていくようです。

四年生が数人、何度か校長室を訪ねてきました。国語の学習で先生に**質問**をするのだそうです。この日は、6つのグループがやってきました。「**小学校の時に**どんな遊びをしていたか」「どんなことが流行っていたか」「中学生では何をして過ごしていたか」「**小3の時には**、放課後何をしていたか」などなど。小学校の時は**ゲーム**や**スマホ**がなかったことなどを話すと興味深くメモをしてくれました。



5月15日（木）紙・木・調理

一年生の図工では、楽しい活動が行われていました。折り紙を**折って**、その**一部を切ります**。そしてそれを**広げると**素敵な模様ができるのです。折り方や切り方によって、いろんな模様が誕生します。「何ができましたか？」と数



人に聞いてみると、それぞれの表現で教えてくれました。

「ビロロローンができた」「ボヨボヨができた」「イモムシみたいなのができた」など。何とか表現しようとする一年生の気持ちと、その言い方がとっても印象的でした。

四年生の図工では、木を描きました。木を見つめて、自分なりの世界観にアレンジして作品が完成したようです。タイトルを見てもおもしろいものがたくさんありました。

「ひからびた木」「世界一大きい木」「青春の木」「長く続く幸せの木」「張り切って楽しい木」などなど。扇小の木を見て書いた作品なので、本校らしい木も登場しました。

六年生が調理実習をしていました。野菜炒めを作っています。ピーマンやニンジン、キャベツを切る活動は避けて通れません。「手を切らないように」と祈りながら見ていると、ある子が「あとで校長先生にも持っていくね」と嬉しいことを言ってくれました。そして忘れた頃に、完成した野菜炒めが届きました。「あとで感想を聞かせて下さい」と言われていたので、食後、担任に伝えました。「とてもおいしかった。柔らかかったし味もよかった。上手に切れていた。ケガ人が出なかったら100点です」。



5月14日（水）放送・数・ボール

毎朝放送をしてくれている放送委員会の子にどんな思いで活動しているかを聞いてみました。一人の子は「みんなが分かりやすいように放送している」と言ってくれました。もう一人の子は「みんなが規則正しい生活ができるようにしている。放送を聞いていない子がいたら声をかけるようになった」と話してくれました。活動を通して、自分の意識も高まっていると感じます。

一年生が算数で数の学習をしています。この日は先生が両手で指を出して、全部で何本の指が立っているかを問題に出しました。左手2本と右手3本なら答えは5です。考え方が分かったところで、ペアで問題の出し合いをしました。ある子が「簡単だ!」と言っていたので、私も参加し



ました。ペアの子の両手と私の両手、**4口のたし算**に挑戦してもらったのです。「**14!**」と、見事に正解。ジャンプ課題を用意していないと、できる子は**飽きてしまうのが**、一年生を見ているとよく分かります。

三年生の体育ではペアでキャッチボールをしていました。ボールは**球**と**楕円**がありました。楕円はキャッチするのがとても難しいのが分かりました。相手のとれるところに投げるのも工夫がいるようです。一番難しいのは、**バウンドした後**の行方です。球と違って、楕円はどこへ行くか分かりません。体験を通して、子供たちがいろんなことを学んでいるのが分かりました。



5月13日(火) 出発・運動・アサガオ

二年生が遠足に出発していきました。「**ママのふるさと**に行くんだよ」と嬉しそうに教えてくれた子もいます。出発したときには、ちょうど他の学年は**体育朝会**のため校庭に集まっていた。「**行ってきます**」と先生たちに手を振る二年生の声を聞くと**ほぼ全員**が、二年生に向かって**手を振って**いました。微笑ましい場面。きっと二年生も張り切って遠足を楽しんでくれたでしょう。



体育朝会では、**新体力テスト**に向けて、記録を伸ばすためにすぐできる運動を紹介していました。**握力**、50m走、**反復横跳び**、ボール投げなどのコツを紹介してくれました。一年生でもできる運動だったので、みんなが夢中で取り組みました。一つひとつの運動は**短時間**でしたが、これを**きっかけ**に子供たちがそれぞれに取り組んでくれることを期待します。**自走**することを願います。



一年生がアサガオに水をあげていました。お世話が本格的に始まったのです。昨日のことを覚えていてくれて「**大きく育ってね**」と言いながら水をあげている子がいました。それを見ていた**三年生**がいたので、「覚えてる？」と聞いてみました。「**ムラサキの花**が咲いた」「**ピンクの花**も咲いた」「**2つ**咲いた気がする」など、いろいろと話し



てくれました。小学生全員が体験したアサガオ育て。共有体験です。他の学年にも聞いてみたいと思いました。

5月12日（月）お茶・トマト・アサガオ

五年生がお茶を入れる学習をしていました。前回、他のクラスの活動では飲む場面は見ることはできませんでした。後でインタビューをしたのですが、おおよそ「にがい」という回答が返ってきたのを覚えています。さて本日、やはり「にがい！」という声は聞こえてきました。しかしその数を上回る「おいしい！」「うまい！」の声が聞こえてきました。同じテーブル、同じお茶でもどうしてこんなに反応が違うのか、不思議に思います。

二年生がミニトマトの観察をしていました。素晴らしい観察記録を二つ見つけたので紹介します。一つは「長さが、えんぴつ4本分だった」書いていた子がいたこと。この子は、間接的にものの長さを表現してくれたのです。もう一人は「大切にお世話して、観察はかせになる！」と書いていた子がいたこと。植物への愛着と意欲を感じさせる素晴らしい記述です。感動しました。

一年生がアサガオのタネを植えました。鉢に土を入れ、穴を開けて、そこに種を植えるまでにだいぶ時間がかかりました。簡単なことではありません。その方が良いのです。大事な命を育てていくのです。苦勞してもらった方が、学習になります。私が「大きく育てね、と声をかけるといいよ」とつぶやくと、近くにいた子がさっそく実践してくれました。「大きく育てね」。



5月11日（日）消しゴム

県内某所の歴史民俗館で展示されている「おもしろ消しゴムコレクション」を見に行ってきました。数えきれないくらいの消しゴムが、一階にも二階にも展示されていました。ある方が集めた物です。見たことのない消しゴム



から、昔職場で見た物までありました。昭和～平成にかけて流行った消しゴムを見つけると、懐かしく若い頃のことを思い出しました。

5月10日（土）不審者・豆・体積

本日は、講話朝会で課した「扇小学校で磨きたいよさ」が集まってきたので打ち込みを始めました。一人2つ書いてもらいました。「字が上手なこと」「友達にやさしいこと」「はやく走ること」「元気なあいさつ」「なわとび」「鉄棒」「歌が好き」「漢字で100点」「姿勢がいい」「話を聞く」「低学年のお世話」「委員会活動」などなど、たくさんのよさが上がってきました。学校で磨いてもらいたいですし、全員で応援してあげたいです。



5月 9日（金）不審者・豆・体積

昨日の立川市小学校の不審者事件を受けて、本日臨時に職員会議を行いました。不審者対応マニュアルの再確認です。本校には各階にあるインターフォン、職員室の緊急放送設備には、緊急時の言葉が貼ってあります。訓練や研修の時にしか使っていないので、この言い回しも見直す必要があります。いずれにしろ、できるだけ不審な人を校内に入れないこと、入ってきたら早く対応することが重要だと感じています。



本日の給食には、きび入りピースごはんが出ました。さやエンドウから豆を出してくれたのは三年生です。みんな楽しそうに、さやむきをしました。中から出てくる豆を見て「大きい」「小さい」「ヒゲがついてる」「8個も入ってる」「4個しかない」などなど様々な反応がありました。ある子はおもしろいことに気づいて友だちに伝えていました。「固いやつは、お尻からむいた方が豆が出やすい」。私もやってみると、確かにその通りでした。



五年生の理科では、おもしろい実験をしていました。容

器に満タンに入れた水の中に、**ロウ（蝋）**のかたまりを入れます。当然、容器から水がこぼれ出します。こぼれ出した**水とロウの体積**が同じになるかを調べる実験です。この実験、こぼれ出す水をもれなく確実に確保するのが難しいのです。あるグループから「できた！」「やった！」と声が上がりました。「**ロウのかたまりを水に入れたら、ロウとぴったりの水がこぼれた！**」と興奮気味に教えてくれました。



5月 8日（木）講話・撮影・辞書

五月の講話朝会。放送にて行いました。私は毎年、五月の朝会で同じ話をしています。それは「**学校とは、自分のよさを磨く場所**である」というもの。子供たち一人ひとりに「**扇小学校で磨きたいよさ**」を宣言してもらい、掲示し、学校全体で**応援**したいというメッセージを伝えました。各クラスでは友達のよさについても学び合ってもらいました。**友達のよさ**を見つけそれを応援することも、自分のよさを磨くことになるとしています。



卒業アルバムの写真撮影が始まりました。この日は職員の個人写真と六年生の**個人写真**、委員会の**集合写真**の撮影がありました。カメラマンさんは**プロ**。子供の**笑顔**を作り出すのが見事だと感心してしまいました。いろんな声かけにより、緊張感をほぐして笑わせます。そして最高の笑顔を収めるのです。「いい写真が撮れた」と私が思っても、カメラマンは写真を確認し「一人が下を向いていた」「一人の表情が硬かった」などと**合格ラインの高さ**を感じさせてくれます。3月にどんなアルバムが届くか、楽しみにしたいです。



三年生の国語で、国語辞典が登場しました。初めて手にとる子も多かったようです。先生が使い方について手短かに説明した後、「**深い**」を調べる活動に入りました。予想通り、「**あ**」から見つけて行く子、「**は**」から見つけて行く子がいて、なかなか「**深い**」にたどり着きません。おもしろ



ろいもので、一人が「見つけた！」という声をあげると次々に「あった！」「あった！」という声が聞こえてきました。「何ページ？」「○ページだよ」「・・・ないよ」こんな会話も聞こえてきました。

5月 7日（水）福祉・リレー・ジャンプ

四年生がアイマスク体験をしていました。一人がアイマスクをして視覚が使えない状態になり、ペアの子が指定された場所に連れていきます。後ろから押すようにする子、横に立って支えるように一緒に進む子、近くに立って声だけで方向を伝える子、自らが前に立ち先導するように進んでいく子など、支援の仕方も様々です。その子の個性、優しさ、考える力などなど、総てが凝縮された行動だと思って見ていました。

六年生が体育でリレーをしていました。最初のレースが終わった後に、チームごとにめあてを決めて練習を始めました。「バトンを立てて渡す」「なるべく内側を走るようにする」「最適な順番を考えていく」などなどのめあての中には「順番を間違えないようにする」という基礎的なものもありました。大事なことだと感じます。

一年生の算数の時間です。先生がフラッシュカードを次々に出していました。●の数を見て子供たちが「7！」「9！」「2！」などと元気に声を出しています。●の数を理解して、数として表現する学習です。ここまではどこでもある姿です。すでにほとんど子が数を言い当てていたので、先生が2枚のカードを一度に出しました。3のカードと4のカード。先ほどまでのスピード感はなくなりましたが、子供たちは「7！」と声をあげました。できたのです、たし算が。これもジャンプの課題です。



5月 6日（火）手入れ

四連休最終日。朝、散歩をしているときに、ある幼稚園



に貼ってあった「**家庭の三声**」に目が止まりました。**話し**合いは心の道路、**歌声**は心のひびき、**笑い声**は心のゆとり、三声あれば、やさしい心、やる気が育つ、家庭に三声あれば**心豊かな子**が育つ、と書いてあります。学校にも、話し合いの声、歌声、笑い声の「三声」を増やしたいものだと、小雨の降る中で思いました。

5月 5日（月）研修

こどもの日。今年も新聞等から「児童の**減少**」「〇年連続」「過去**最高**」などの文字が飛び込んできました。全国各地で学校**統廃合**も進んでいます。このまま子供が減っていくと、学校数も確実に減っていくことが予想されます。本日は、掲示物・HP更新・提出資料作成などなどのために、校長室で仕事をしました。**校内研修**の報告もあがってきたので、グランドデザイン作成にも着手しました。



5月 4日（日）手入れ

本日は、**バラ**がたくさんあるという場所に行きました。広い敷地に数え切れないほどのバラ、**種類**も覚えきれないほど豊富です。それぞれがきれいで、よい**香り**がします。手入れには、たいへんな**苦労**があると容易に想像できました。この日は晴天でしたが、強風の日、豪雨の日、乾燥が続く日もあるでしょう。数人の**職員**が観光客も気にせずの一つひとつの植物に手をかけている姿もありました。何事も手入れ、準備を怠っては人を**感動**させることはできないと感じました。



5月 3日（土）自走

本日から四連休。私も観光である場所に行ってきました。駅、観光地などほとんどの場所で人がいっぱいです。癒やしを求め、動物とたくさん会える場所に行きました。



印象的だった場面が2つありました。まずはミーアキャットの集団。一人だけ岩の上で姿勢よく立って周りを見渡しているのです。次にフラミンゴ。この集団の中に一人だけ違う色（種類）の子が入っていたのです。周りの動きに流されずに一人で自走する動物の姿が、印象に残ってしまいました。

5月 2日（金）掃除・合言葉・私が

五月に入り、一年生の掃除も上手になってきました。しかしまだまだ独り立ちはできません。六年生がお世話に来てくれています。今日も六年生が優しい口調で厳しい指示を出している場面がありました。「あっちに向かって掃いていくんだよ。ゴミはこっちに集めていくんだよ」。一年生も素直です。「はい」「分かりました」と、言われたとおりに作業を進めていました。六年生がいなくてもできるのは、もう少し先かな。

あるクラスに貼ってある言葉、今日、ある発見をしました。「助け合う」「一生懸命」「やさしい」「きまりを守る」。頭文字をつなげると「たいやき」になります。きっとクラスみんなで話し合っ、たくさんの案の中から選んだのでしょう。「たいやき」いい合言葉ですね。このクラスには「たいやき」が嫌いな子がいないことも分かります。「〇年生の時に、たいやき、たいやき、って、言ってたなあ」と、卒業まで覚えているかもしれません。

あるクラスでは算数のプリント直しをしていました。たまたま目にしたところに×が付けられていたので、ちょっと話しかけてみました。「おしかったね。これは、」話し始めると、近くにいた子が「ダメだよ」と私に言いに来ました。「教えちゃいけないんだよ」と言われるのかと思いましたが、違いました。「私が教えてあげようと思ったんだよ」と言うのです。子供の学習を奪ってしまいそうでした。



5月 1日（木）読み聞かせ・花粉・探検

本日、朝、読み聞かせの時間でした。一年生にとっては初めてでしたが、どのクラスもよく聴いていました。あるクラスでは「**すごいね、みんなの通学路**」という本を読んでもらいました。聞き終えて感想を求められると、「すごかった!」「**こわそう!**」「壊れた橋を渡るのは、こわそう」などの発表がありました。感想を聞いて、どんな内容なのか想像がつくようでした。自分たちの通学路と比べて、**様々な想像**を、子供たちは巡らせたのでしょう。

五年生がユリの花粉を顕微鏡で見えていました。私も見せてもらいましたが、きれいにくっきりとその様子が分かりました。誰でも感動します。これを**言語化**することが大切です。数人に「どんな感じだった?」と訊いてみました。「**ごま塩**みたい」「**コーヒー豆**みたい」「**空気の塊**のよう」「**ヒマワリのタネ**みたい」「**ラグビーボール**みたい」と教えてくれました。どの表現もうなずけるものでした。

二年生が学校探検をしていました。校長室に来た子に、「入ってみる?」と聞くと遠慮されました。「**教室には入らない**」という約束をして教室を出発したようです。一階、二階と数グループが歩いていましたが、一番多かったのは**三階**です。六年生の教室や音楽室、理科室などの前にたくさんのグループがいました。少しでも**遠く**へ、**高い**場所へ、普段**行かない**場所へと足が向くのは、今も昔も変わらないと、少し安心しました。

